

令和2年度 第1回 稚内市庁舎建設検討委員会

議事録 要旨

時期 : 令和2年8月20日(木) 13:30~

場所 : 稚内総合文化センター 小ホール

出席者: 別紙出席者名簿参照

1. 要旨

○敷地選定について

- ・公共公益連携について、病院と災害対策本部が近いことは重要と感じる。子どもたちを守る面でも大事にしたい。
- ・庁舎が耐火耐震に弱く、災害が頻繁に起こる中で、建て替えをできるだけ速やかに進めるべきだと思う。
- ・再開発は権利調整が複雑になり、意見がまとまらず、事業が進まない事がよくあるので、計画的に進めるためにも現庁舎周辺での建て替えが妥当と思う。
- ・現庁舎位置の方が集約化など様々な面を考えると良いと思う。
- ・事業期間がやはり一番大事という事であれば、現庁舎位置で進めた方がいいと思う。
- ・起債の目途もついたようなので、早めに場所を選定して進めて欲しい。
- ・現庁舎の場合、災害時に駐車場を相互利用できるのはいいと思うが、稚内の場合、半年間は屋外には雪があるため駐車場に避難するのは難しいのではないか。
- ・災害時、道路に緊急車両等が集中した場合に、機能が麻痺する心配もあると思う。少し施設の距離を置き、その周りを整備する事も考えられる。

○庁舎規模について

- ・人口が急激に減って来ている一方で、年寄りや弱者の声が多く聞こえるようになると、職員の数を急激に減らすことは無理だと思う。当面は庁舎の面積は現庁舎と同じ7,000㎡は必要ではないかと思う。
- ・いずれ人口が減って職員数も減ってくると、空きスペースに他の施設や機能を集約したり、市民の場所として使えると思う。

○まちづくりについて

- ・現在の敷地で建て替える場合、二核ネットワーク型として、キタカラと、市庁舎と文化センターと病院、といった人の集まる拠点施設として位置づけ、間の商店街はその二つの核を繋ぐ役目として、今後再開発事業などを検討していくと良いのではないかと。
- ・商店街周辺といっても、色々な区画があり各区画のメリット・デメリット、あるいは費用、障害、期間などについて詳細な検討は必要と考える。
- ・商店街はどんどん衰退していて、アーケード街が活性化しない限りは、人の流れが駅前通りにあるだけではダメだと思う。駅前通よりも商店街の活性化のほうが大事だと思う。
- ・商店街周辺には老朽化している建物も多く、あまり長いこと持つ状況ではない。よほどの手を打たないと、一致団結しないと活性化は難しいと思う。
- ・思い切ってどこからか事業者が来て、大々的に何かを作ってくれれば、その中に事業を展開する人が出てくるかもしれないが、単独で事業や企画ができるのかは不安である。
- ・現庁舎とキタカラとの間を周遊している人はほとんどいないため、現庁舎位置に建て替えた場合、現状と変わらないのではと思う。
- ・新庁舎を建てて点は増えますが、それをつなげる軸ができなかったら賑わいは生まれないので、その点も踏まえて進めて欲しい。

○その他

- ・敷地選定に向けた比較の中で、①のまちづくりの点にある中心市街地への波及効果について、現庁舎と中央商店街の周辺が両方評価が「○」となっているが、同レベルとは思えない。
- ・内部や機能的な面については、庁内でもう少し検討して頂き、予算も含めて早めに検討して頂ければと思う。